

令和8年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和7年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立社会体育施設	施設所管課	教育委員会事務局 スポーツ推進課
施設住所	西御園町93番地の2 ほか	竣工	S51.7(築満48年) ほか
設置目的	スポーツ等に関する事業を実施することにより、スポーツの推進及び市民の健康の維持増進を図るため		
主な事業内容	施設の管理・運営、維持管理業務、スポーツ教室等開催事業		
指定管理者名	公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	■専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ■効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長 □その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
今年度は大きな工事等も予定しておらず、長期の休館日も予定していないので、現在掲げている令和9年度を目標にした施設利用者数の目標達成に向けて、利用者の増加を目指すとともに、効率的かつ利用者満足度の高い施設運営を行う。また、指導者派遣等の自主事業を積極的に行い、本市スポーツの一層の推進を図る。

実施結果
施設利用人数が昨年と比較し大幅に増加することが見込まれる中、アンケートでも高い利用者満足度を維持しており、効果的な運営を行ったと言える。（指標①、②）

有効性

有効性

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートのうち、接遇に関する項目についての「満足」以上の割合（単位：％）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	90%	90%	90%	90%	90%	90%
実績	-	-	-	-	-	95.4%	98.3%	98.6%	98.5%	98.2%	
達成度	-	-	-	-	-	106%	109%	110%	109%	109%	
評価	-	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	

指標②：利用者アンケートのうち、事業に関する項目についての「満足」以上の割合（単位：％）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績	-	-	-	-	-	95.9%	95.8%	95.6%	95.0%	94.5%	
達成度	-	-	-	-	-	107%	106%	106%	106%	105%	
評価	-	-	-	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	

◎目標を大きく上回った/上風値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
施設が老朽化し修繕を要する箇所が多い中で、これまで以上に経費の節減及び効率化に努め、市民サービスの維持・向上に直結する費用を確保していく。

実施結果及び評価
光熱水費や物価高騰の影響が大きくなる中、計画的な節電等によって光熱水費の上昇を抑えたほか、修繕箇所や購入備品の厳選といった経費の削減に努め、予算執行(物件費)の効率化を図る中で質の高い運営を行った。

◎

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）
②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
日常業務の中でエコオフィスづくり指針に基づく取組を行うよう意識醸成に努めていく。

実施結果及び評価
エコオフィスづくり指針に定められたほとんどの項目について、適切な取り組みが実施され、環境に配慮した運営が行われていることが確認できた。一方で、物品等の調達において、グリーン購入法適合商品優先的に購入する取り組みについては、さらなる推進が望まれる。

◎

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているもまだはいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況 (単位: 円)							
収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	236,526,623	236,527,245	620	人件費	165,420,000	171,154,705	-5,734,705
				0 物件費	57,476,000	55,569,886	1,906,114
				0 光熱水費	22,204,000	19,832,621	2,371,379
			0				0
収入計	236,526,625	236,527,245	620	支出計	245,100,000	246,557,212	-1,457,212

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	スポーツ推進の中核的な担い手として、子どもの体力向上や高齢者の介護予防など、本市が抱える今目的な課題を把握し、その解決に向けて、市と一体となって取組を進めていくこと。
指定管理者自身が設定した目標	1 法令を厳守し、平等かつ公平な管理運営、2 利用者ニーズや専門的知識を反映した管理運営、3 経費削減を目指した効率的・効果的な事業運営

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	住民が気軽に運動やスポーツを楽しむことができ、地域の健康づくり及びコミュニティづくりの場となる施設					
目標	指標	施設利用者数(人)（基準値：令和3年度実績 345,060人、目標値：令和9年度 364,000人）				
指標	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8
目標値		348,217	348,217	351,373	354,530	387,000
実績値		335,781	371,598	361,806	381,845	
		前倒しで目標は達成したが、当該水準を安定的に維持できるよう、引き続き取組を推進する。				

適 正 性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	懸念有
	危機管理一事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況一提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

関係性の構築
令和7年度は昨今の人件費高騰を踏まえ、指定管理料の見直しを行った。今後においても本市が掲げる施策目標を達成するための良きパートナーとして、安定的な組織体制の確保や、密なり取りによる事業の方向性の共有を行い、指定管理を含めた市全体のスポーツ推進に共に取り組んでいる。
協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）
施設の維持管理運営にあたり、各現場の状況を共有し修繕の優先度等を共に検討しながら対応した。今後、大庄地区においては、大庄健康ふれあい体育館の建設も予定しているが、密に連携を取りながら利用者のニーズや現場の意見を吸い上げ、より利用者満足度の高い施設となるよう運営方法等に反映させ、大庄体育館からスムーズに利用移行できるようにする。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）
スポーツ推進計画に基づき利用者ニーズに応じた各種教室を実施し、利用者の満足度向上につながった。また、子育て・働く世代のスポーツ推進に向けた取り組みとして、土曜日若しくは日曜日に全館でファミリータイム（一般開放）を設けた。今後は親子で参加できるプログラムにも新たに組み込み、運動する機会のさらなる提供を積極的に行う。施設環境としては、大庄・園田体育館以外は冷房設備が整い、快適に運動ができる環境が整ったが、暑熱環境の中で運営している大庄・園田体育館については、引き続き「熱中症予防運動指針(尼崎市版)」に基づき対応する。また、老朽化による不具合・故障が断続的に発生していることから、施設利用環境の維持・向上に向け、状況把握と対応策の共有を密に行っていく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）
光熱水費や人件費の高騰に加え複数施設で大規模改修工事等が続く中で、高い利用者満足度を確保しつつ施設利用者数が目標値を大きく上回ったことは、効率的で効果的な施設運営が適切に実施された結果である。施設の老朽化が進む中で、通常の維持管理では対応が困難な事案については、市が責任をもって改修等を行い施設環境の維持向上に努めていく考えであり、引き続き指定管理者との適宜の状況共有等に取り組んでいく。また、利用者ニーズが多様化する中で、事業運営においては、中長期的な視点のもと、各種スポーツ団体、地域、教育現場との信頼関係を構築し十分に連携を図りながら事業展開していく必要があり、引き続き緊密な情報共有のもとで意見交換等を重ねていく。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）
今後とも利用者の安全確保を最優先に、適正な施設管理と利用者ニーズに応じた多様な事業運営を行い、さらなる利用者数の増加及び満足度の維持・向上を目指すとともに、施設の大規模改修等にあたっては、利用者への影響が最小限となるよう関係者間で十分に連携しながら取り組んでいく。また、中学校部活動の地域展開の推進をはじめ時世に応じた事業の見直しなど、スポーツ行政を推進するパートナーとして共に取り組む課題が増加しており、これまで以上に緊密かつ細やかな連携体制の構築に努める。さらに、施設が老朽化する中で、大規模改修工事以外で今後の修繕等が見込まれる部分については、予防保全的な視点の下で修繕計画を策定し、計画的な推進に向けて財政部局と協議・調整を行う。加えて、令和8年度末で現在の指定期間が満了となることから、次期指定管理に向けた協議調整に鋭意取り組む。

パートナーシップ

令和8年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和7年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	武庫健康ふれあい体育館	施設所管課	教育委員会事務局 スポーツ推進課
施設住所	武庫元町3丁目5	竣工	R6.10.15
設置目的	スポーツ等に関する事業を実施することにより、スポーツの推進及び市民の健康の維持増進を図るため		
主な事業内容	施設の管理・運営、維持管理業務、スポーツ教室等開催事業		
指定管理者名	公益財団法人尼崎市スポーツ振興事業団	指定期間	自 R7.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A（施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設）		
指定管理者に 主として期待 される事項	■専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施		
	■効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長		
	□その他（ ）		

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
地区体育館と老人福祉センターの機能を統合した新たな施設として、既存の利用者の継続的な利用だけでなく、新たな利用者を獲得すべく、施設やプログラムの周知を図るとともに、効率的で満足度の高い施設運営を推進するため、複合施設としてふさわしい新たなプログラムを積極的に展開し、多世代交流やプレイル予防に取り組むことで、スポーツの推進と健康の維持・増進を図る。

実施結果

施設利用人数は旧武庫地区体育館及び旧富喜園と比較して大幅に増加し、アンケート結果においても高い利用者満足度を得るなど、効果的な運営を行うことができた。（指標①・②）

（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートのうち、事業に関する項目についての「満足」以上の割合（単位：％）											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90%	90%
実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98.3%	
達成度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	109%	
評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	

指標②：利用者アンケートのうち、事業に関する項目についての「満足」以上の割合（単位：％）											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90.0%	90.0%
実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95.9%	
達成度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	107%	
評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	

◎目標を大きく上回った/上振値に近い実績で推移している。○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
光熱水費や物価の高騰が今後も見込まれるため、引き続き経費節減に努め、市民サービスの向上に直結する支出を確保していく。

実施結果及び評価

光熱水費や物価高騰の影響が大きい中、計画的な節電を実施することで光熱水費を抑えつつ、質の高い施設運営を実現した。また、新たなプログラムの提供や教養講座の実施もあり、利用者数は旧武庫地区体育館と比較して大幅に増加した。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と連携に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
日常業務の中でエコオフィスづくり指針に基づく取組を行うよう意識醸成に努めていく。

実施結果及び評価

エコオフィスづくり指針に定められたほとんどの項目について、適切な取り組みが実施され、環境に配慮した運営が行われていることが確認できた。一方で、物品等の調達において、グリーン購入法適合商品を優先的に購入する取り組みについては、さらなる推進が望まれる。

◎高水準で両立している。○両立している。△両立しているとは言いえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	51,010,000	51,010,000	0	人件費	29,281,000	29,454,692	-173,692
			0	物件費	12,217,000	13,478,569	-1,261,569
			0	光熱水費	12,300,000	4,172,707	8,127,293
			0				0
収入計	51,010,000	51,010,000	0	支出計	53,798,000	47,105,968	6,692,032

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	スポーツ推進の中核的な担い手として、子どもの体力向上や高齢者の介護予防など、本市が抱える今日的な課題を把握し、その解決に向けて、市と一体となって取組を進めていくこと。
指定管理者自身が設定した目標	1 法令を厳守し、平等かつ公平な管理運営、2 利用者ニーズや専門的知識を反映した管理運営、3 経費削減を目指した効率的・効果的な事業運営

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	住民が気軽に運動やスポーツを楽しむことができ、地域の健康づくり及びコミュニティづくりの場となる施設					
目標 指標	指標	施設利用者数（人）（基準値：令和3年度実績 345,060人、目標値：令和9年度 364,000人）				
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8
	目標値	348,217	348,217	351,373	354,530	387,000
	実績値	335,781	371,598	361,806	381,845	

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	懸念有

危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

関係性の構築

令和7年度は昨今の人件費高騰を踏まえ、指定管理料の見直しを行った。今後においても本市が掲げる施策目標を達成するための良きパートナーとして、安定的な組織体制の確保や、密なやり取りによる事業の方向性の共有を行い、指定管理を含めた市全体のスポーツ推進に共に取り組んでいる。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

武庫健康ふれあい体育館は、新規竣工施設として令和7年4月から供用を開始しており、施設・設備面では大きな問題なく運営が行われている。
一方で、老人福祉センターとの複合化や公園敷地内への設置に伴い、多目的ホール・談話コーナーの利用方法をはじめ、施設の運用に関して新たに検討すべき課題も生じていることから、今後、関係課を含めた協議を進めていく。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

老人福祉センターで実施してきた「教養講座」や「朝の体操」等の取組を継続するとともに、スポーツ推進計画に基づき、利用者ニーズに応じた各種教室を実施し、利用者の満足度向上を図った。
また、子育て世代及び働く世代のスポーツ推進に向けた取組として、土曜日・日曜日に新たなプログラムである「スマイルバスケットボール」や「ファミリータイム」を導入した。今後は、親子で参加できる新たなプログラムを実施するなど、運動機会のさらなる提供に積極的に取り組んでいく。
武庫健康ふれあい体育館は、生きがい・健康づくり支援や介護予防機能を備えた複合型の地区体育館の先駆けとなる新たな施設であり、施設運営の中で生じる課題については速やかに報告し、連携を図りながら対応していく。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

新規複合施設の開設に伴い施設利用者や事業内容など業務運営環境が大きく変更する中で、高い利用者満足度を確保しつつ施設利用者数が目標値を大きく上回ったことは、地域住民への施設認知度の向上とともに効率的な施設運営が適切に実施された結果である。
老人福祉センター機能との複合化や多様な地域活動が展開される大規模公園敷地内への設置など、他の社会体育施設とは異なる施設環境下であり、世代を超えた利用者間の交流促進や施設利用者のモラル向上などの課題については、関係部局と十分に連携、協議し対応に努めている。
また、今後の事業運営においては、中長期的な視点のもと、各種スポーツ団体、地域、教育現場との信頼関係を構築し十分に連携を図りながら複合施設にふさわしい事業展開をしていく必要があり、引き続き緊密な情報共有のもとで意見交換等を重ね、施設の定着化と魅力の向上を図っていく。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

今後とも利用者の安全確保を最優先に、適正な施設管理と利用者ニーズに応じた多様な事業運営を行い、さらなる利用者数の増加及び満足度の維持・向上を目指すとともに、施設の大規模改修等にあたっては、利用者への影響が最小限となるよう関係者間で十分に連携しながら取り組んでいく。
また、中学校部活動の地域展開の推進をはじめ時世に応じた事業の見直しなど、スポーツ行政を推進するパートナーとして共に取り組む課題が増加しており、これまで以上に緊密かつ細やかな連携体制の構築に努める。
さらに、施設が老朽化する中で、大規模改修工事以外で今後の修繕等が見込まれる部分については、予防保全的な視点の下で修繕計画を策定し、計画的な推進に向けて財政部局と協議・調整を行う。
加えて、令和8年度末で現在の指定期間が満了となることから、次期指定管理に向けた協議調整に鋭意取り組む。